

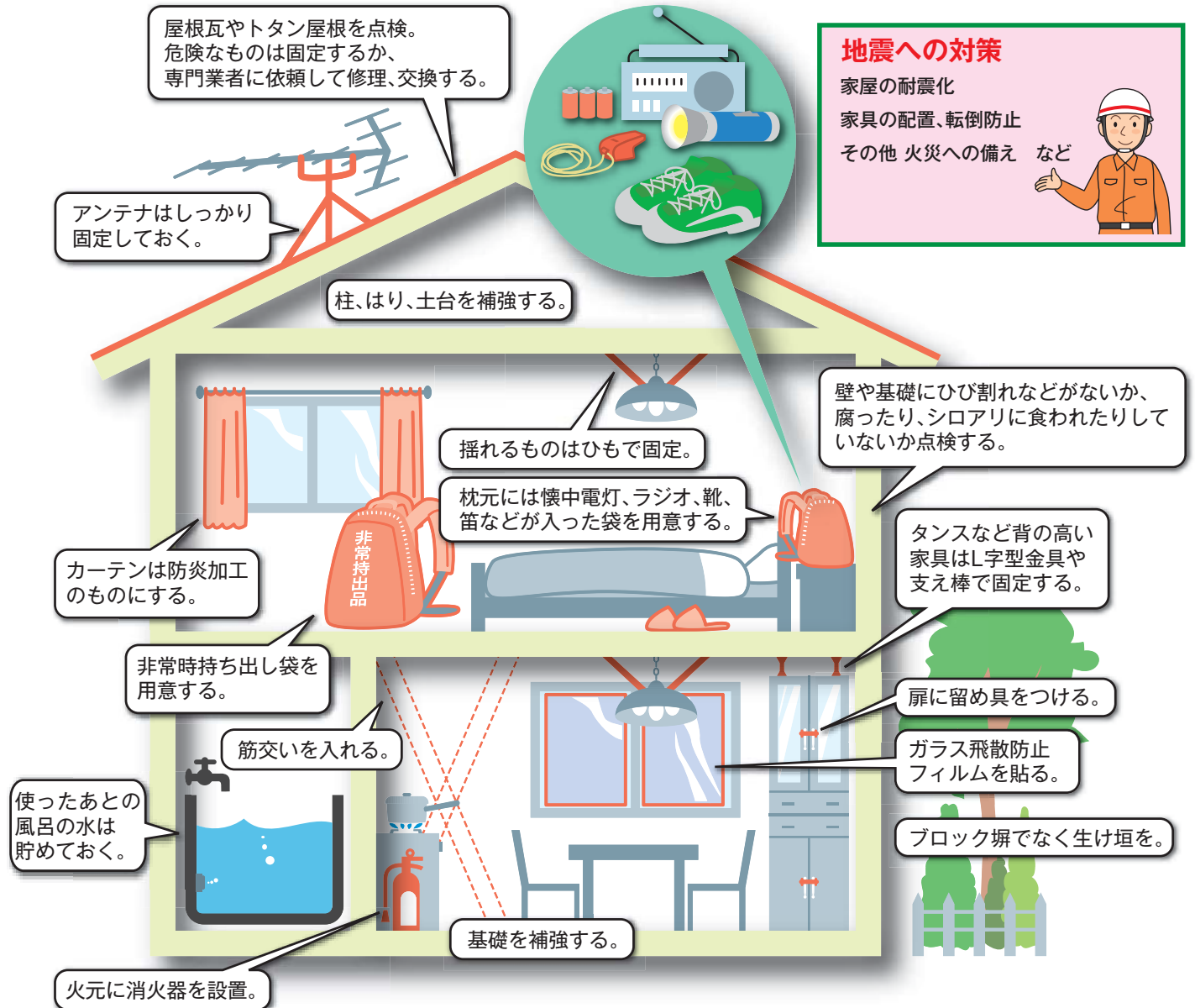
# 地震・津波から身を守る

## ●地震に対する備え

### ●いざという時のために、日頃から家の中、外の安全対策を実施しましょう。

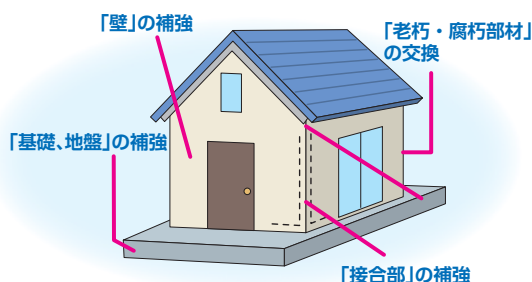
家の中や家のまわりでも、災害時に避難や救助の妨げになったり、落下物によるケガなど被害を引き起こすおそれもあります。普段から、災害に備えて点検、整備しておきましょう。

#### 【戸建住宅の例】



### ●その1 家屋の耐震化

安全・迅速な避難の第一歩は、自分の家の耐震性を知ることです。



## 命を守る安心な住まいの実現へ

### ■堺市の取組み

- 住宅耐震診断補助、耐震改修工事の設計費及び工事費に対する補助  
補助には対象となる要件などがあります。詳しくは下記のところにお問合せ下さい。

問合せ先：建築都市局 開発調整部 耐震化推進室

TEL：072-228-7482 ファックス：072-228-7854

## ●その2 家具の配置、転倒防止

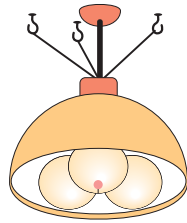
■家具やテレビなどを固定し、揺れによる転倒や落下を防止しましょう。また、扉をふさがないように部屋の出入り口付近や、就寝時に身体の上に転倒しないよう家具の配置にも注意しましょう。

※特に高層マンションでは長い周期の揺れが発生します。



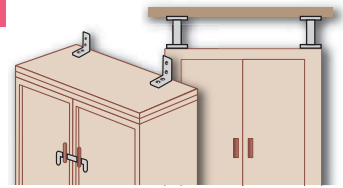
### 照明器具の補強を

- 天井に直接取り付けタイプの照明が安全。
- つり下げ式の場合は、鎖と金具などで固定する。
- 蛍光灯は、蛍光管の両端を耐熱テープでとめておく。



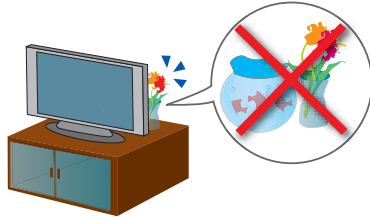
### 耐震金具の利用を

- 転倒防止金具  
壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと床などに固定するタイプなどがある。



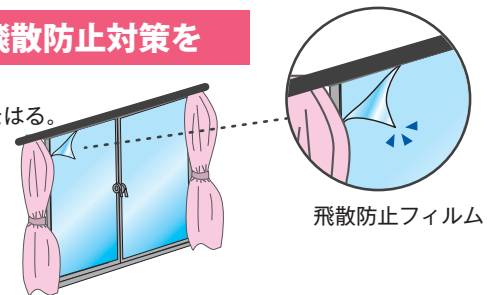
### 落ちる危険のあるものは置かない

- テレビはできるだけ低い位置に固定しておく。
- 家具の上にものを置かないように。



### ガラスの飛散防止対策を

- ガラスには、飛散防止フィルムをはる。



飛散防止フィルム

## ●その3 津波に関する情報

### ■緊急地震速報

地震の発生及びその規模を素早く知り、地震による強い揺れが始まる数秒～数十秒前に、テレビやラジオなどで強い揺れが来ることを知らせる情報です。強い揺れの前に、自ら身を守ったり、列車のスピードを落したり、エレベーターを最寄の階に停止させるなどの安全確保へ活用されています。ただし、震源に近い地域では、「緊急地震速報」が間に合わず、揺れが先にくることがあります。

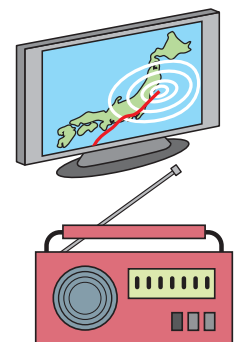
### ■震度速報

地震発生約1分半後に、震度3以上を観測した地域名(全国を188地域に区分)と地震の揺れの震源と到達時刻を速報。

### ■津波に関する情報(大津波警報、津波警報または津波注意報)

地震が発生してから約3分(一部の地震※については最速2分程度)を目標に発表される情報。

以下の3つの情報が発表されます。



	予想される津波の高さ	
	数値での発表	巨大地震の場合の表現
<b>大津波警報(特別警報※)</b>	10m超(10m<高さ)	巨大
	10m(5m<高さ≤10m)	
	5m(3m<高さ≤5m)	
<b>津波警報</b>	3m(1m<高さ≤3m)	高い
<b>津波注意報</b>	1m(20cm≤高さ≤1m)	—

※特別警報は、これまでにない危険が迫っていることをお知らせするものです。